

お子様がどのような使い方をしているかご存知ですか？

～「平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」より～

内閣府が3月に発表した「平成30年度 青少年*のインターネット利用環境実態調査」の内容を簡単にまとめて、お伝えいたします。

*青少年…満10歳～満17歳

1 青少年のインターネット利用率は 93.2%

青少年の 93.2% (小学生：85.6%、中学生：95.1%、高校生：99.0%) がインターネットを利用しており、昨年度 (89.4%) より約4ポイント上昇しています。

2 青少年が最もインターネットを利用している機器はスマートフォン (67.4%)

インターネットの利用機器はスマートフォンが 67.4% でトップ、以下、携帯ゲーム機 (32.5%)、タブレット (32.4%)、ノートパソコン (18.4%) が上位となっています。



※インターネットに接続できる機器は身近にいろいろとあります。SNS や掲示板、ゲームやアプリでの課金など、保護者が気付いていない使い方をお子様はしていませんか？

3 青少年のインターネット利用時間は、1日約2時間半 (168.5分)

1日の平均利用時間は 168.5分 (小学生：118.2分、中学生：163.9分、高校生：217.2分) で、前年度 (159.3分) と比べて約9分増加しています。特に小学生は、前年度 (97.3分) と比べると約21分増加しています。



また、利用内容について、特に高いものは以下の通りになります。

小学生 ①ゲーム…81.5%、 ②動画視聴…66.1%、 ③コミュニケーション…36.0%

中学生 ①動画視聴…80.9%、 ②ゲーム…74.1%、 ③コミュニケーション…68.2%

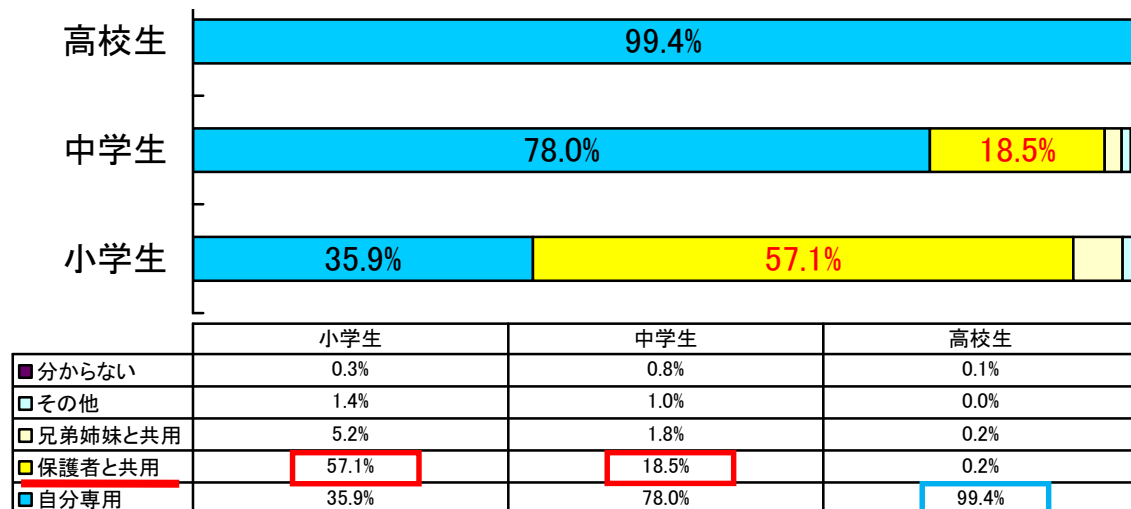
高校生 ①コミュニケーション…89.7%、 ②動画視聴…87.4%、 ③音楽視聴…80.6%

「コミュニケーション」(メールやメッセージ、SNSなど) は、小学生では 36.0% ですが、中学生では 68.2% と一気に増加、さらに高校生では 89.7% に達します。

◎今回の調査から、インターネット接続機器が「**自分専用のものか、保護者などと共用で使っているものか**」という設問が新たに加わりました。

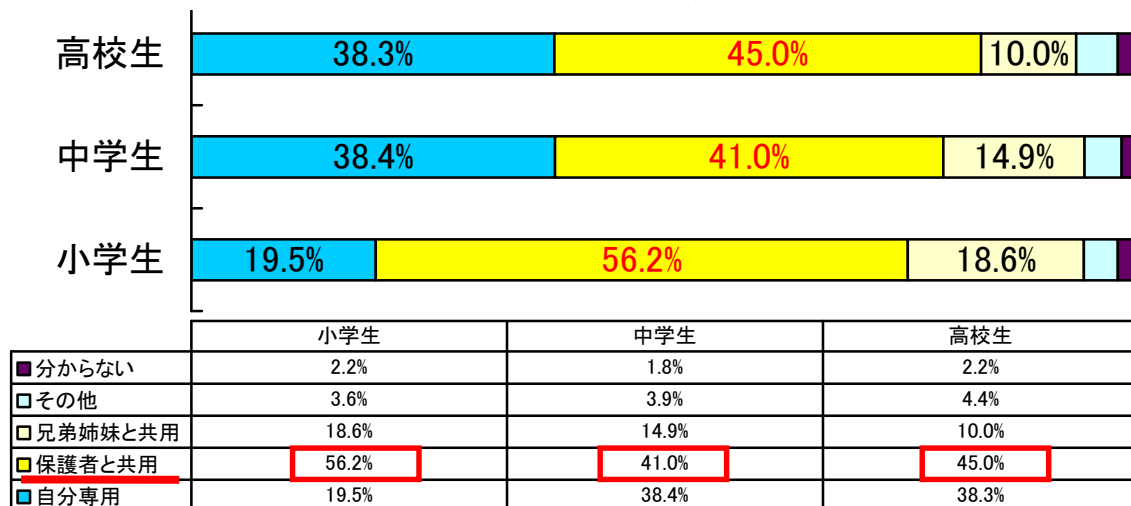
【インターネット利用機器の専用・共用状態（スマートフォン）】

（スマートフォンでインターネットを利用すると回答したものの内訳）



【インターネット利用機器の専用・共用状態（タブレット）】

（タブレットでインターネットを利用すると回答したものの内訳）



スマホについては、ほぼ全ての高校生が自分専用のスマホを用いているのに対して、中学生では5人に1人、小学生では半数以上が保護者と共用のスマホを用いてインターネットを利用している状況が明らかになりました。また、タブレットについては、小・中・高校生のいずれも約半数は保護者と共用のタブレットを利用している状況でした。

このため、お子様に保護者のスマホやタブレットを使わせる場合は、ネットの閲覧履歴やアプリの使用履歴を確認したり、保護者の端末にもフィルタリング機能を設定するなど、保護者がお子様の使用を管理するとともに、何のためにインターネットが必要なのか、どのように使うのかなどを話し合っ、適切なインターネットの利用を促しましょう。



<出典>・内閣府「平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果」

https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h30/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】 福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp